

平成23年度 事業計画書

特別養護老人ホーム 豊園荘
短期入所生活介護事業所 豊園荘

1) 事業

ユニット型介護老人福祉施設 定員 80名
ユニット型短期入所生活介護 定員 20名

2) 運営・処遇（支援）等方針

特別養護老人ホーム・短期入所生活介護事業所 豊園荘は、ご利用者の個々の暮らしの充実と尊厳を支えるケアを目指し、ご利用者と共に生きる生活の場の提供と自立支援に努めます。

I ユニットケアの実践と重度化への対応

- ・ご利用者一人ひとりの個性や生活のリズムを尊重し、その人らしい暮らしの営みと、ご利用者相互の社会的交流が保てるよう、小規模単位での個別ユニットケアを実践する。
- ・利用者の自立支援に向けた個別ケアを基本方針とし、重度化に伴うターミナルケア、重度認知症ケア、医療との連携に取り組む。

II 介護サービスの質の向上と人材育成への取り組み

- ・選ばれる施設を目標に、職員のケア技術とモチベーションの向上、チームケアの仕組み作りを重点課題とし、自分で考え、行動できる職員を育成するための研修システムを実践する。
職員全体研修を細分化し、新人職員、現任職員、管理職等、責任役割に応じた研修計画を作成し、個々のスキルアップを図る。

1. 生活相談及び援助

(1) 生活援助

- ①ご利用者一人ひとりの意向を尊重したサービス提供・暮らしやすい生活環境づくり

に努めます。また、自己選択・自己決定による個別の園内外行事を実施することにより、地域社会への関わりを密にし、自立支援および心身の活性を図ります。

- ②環境整備に細心の注意を払い、ご利用者の意向を尊重することにより不安を取り除き、本人及びご家族のニーズを把握し各部署間との連携及び情報の共有を図ることにより、安心した生活が送れるように努めます。
- ③生活の場を意識し、明るく温かみのある雰囲気作りを常に考えます。また、個別・集団双方のニーズを把握し、地域との連携を図り社会参加が出来るよう努めます。

(2) 事故防止について

- ①安全管理対策委員会の定期的な実施によりヒヤリハット・事故報告書等の分析・検討・対策を具体的に行い、個々に対するマニュアルを作成し各部署職員の意識統一を図り、安心・安全に生活していただけるよう努めます。

(3) 個人情報の守秘義務

- ①介護サービスを提供する上で知り得た個人情報は、個人の人格尊重の理念の下に慎重に取り扱いを図り、正当な理由なく第三者に漏洩しない。

(4) 相談・援助活動

- ①ご利用者や家族の意思を十分に尊重し、情報提供を行い、選択できる機会を保障し施設と利用者の関係形成に努めます。

2. 介護関係

(1) 食 事

- ①食に関わる様々な行事を楽しんで頂けるよう努める。
(ユニット毎での炊飯、おやつ作り、食器洗い、片付け等)
- ②少人数で楽しく、個々のペースに合わせ、ゆったりとした雰囲気ですぐに食事が摂れるよう努める。
- ③食事は可能な限り離床して行い、食事時の事故防止に努める。
- ④自力で摂取できるよう食事の形態、自助具等創意工夫し、個々の状態に応じた口腔ケアを実施し、経口摂取を継続出来るよう多職種間での協力体制を確立する。また、その時々状態に合わせて食事形態を検討し対応する。
- ⑤全量摂取して頂けるよう、好み等ニーズの把握に努め、多職種間の協力で細かいニーズに応えていく。
- ⑥食前の手洗い、食事介助前の手洗いの徹底を図り、感染予防に努める。

(2) 入 浴

- ①個々のペース、状態に合わせた入浴方法で、ゆったりとした気持ちで入浴していただくよう介助する。
- ②入浴時のプライバシーには特に配慮し、入浴の介助は安全第一を考慮するとともに、

利用者の自立支援に心掛ける。

- ③ご利用者毎に浴水の入替えを行い感染予防の徹底を図る。
- ④週2回以上の入浴を実施し、入浴のできない利用者は清拭、部分浴を行う。また、希望する方には、夜間入浴も含めていつでも入浴できるよう対応に努める。

(3) 排泄

- ①排泄介助は言葉や態度に注意し、プライバシー、尊厳の保持、羞恥心に配慮した、思いやりのある介護に心掛ける。都度交換に努め、消臭への配慮も怠らない。
- ②排泄記録をもとに、個別の排泄パターンを把握し、個々に応じた排泄方法を検討し、おむつ外しに取り組む。
- ③排泄チェックを確実に実施し、排泄物の、色、量、回数等に注意し健康状態の把握に努める。
- ④排泄後の手洗い、手すり・便座等の消毒等の徹底を図り、感染予防及び蔓延に努める。

(4) その他

- ①馴染みの関係や家庭的な環境を生み出し落ち着いた生活を送って頂けるよう努める。
- ②言葉にならないサイン(表情、視線等)もキャッチする。
- ③個々の状態を正確に把握し、ケアプランに沿った個別処遇に努め、自立に向けた援助を心掛ける。
- ④ユニット個別ケアに取り組み、直接的なケアに加えて、利用者の生活を支えるケアを目指す。
- ⑤ターミナル・認知障害ケアにおいては、個人の尊厳、家族の希望を尊重し、受容と共感を基本とした援助に心掛ける。また、精神面へのケアにも心掛け、ターミナル期には、看取られる家族へのケアにも努め、看取りのためのプライベート空間の設備を図る。
- ⑥看護職員、機能訓練指導員との連携を密にして、様子観察を怠らず、病気の早期発見、適切な対応に努め心身諸機能の維持・向上に努める。
- ⑦身体拘束は人権侵害であるという認識を持ち、人間としての尊厳を保つように、常に代替ケアの可能性を考え、身体拘束ゼロを目指したケアに努める。
- ⑧クラブ活動、行事、レクリエーションの充実により、明るく安心して生活できるよう援助します。また、地域の方、ボランティアの協力を得るなど、利用者の生きがい作りに努める。また、個々のニーズに応える個別行事への取り組み、身体に障害があっても興味をもって参加してもらえよう選択肢を広げ、生活歴から興味のもてるようなものを勧めるなど、意図的な参加誘導を試みる。
- ⑨感染症に対して、手洗い・うがいの励行や生活環境を衛生的に保ち、適切な予防対策、迅速な対応に努める。

3. 健康管理

(1) 健康の保持

- ①利用者一人ひとりの身体状況の把握に心掛け、各職種間との連携を図り、異常の早期発見、早期対応により、疾病の予防と悪化の防止に努める。
- ②嘱託医との連携を密にして、健康の保持と状態変化への適切な対応を行う。
- ③職員の健康管理の徹底

(2) 感染症対策の徹底

- ①インフルエンザ対策として予防注射を実施する。
- ②ノロウイルス、O-157、疥癬、MRSA、B型肝炎等の対応マニュアルを作成し感染予防に努め、発症時には、対策委員会で対策を協議し、全職員で蔓延防止に努める。
- ③利用者、職員の手洗い、うがいを徹底指導する。
- ④室温、湿度の管理を行い、居室内の換気に努める。
- ⑤来訪者に手洗い、マスク着用していただく。

(3) 便秘対策

- ①離床、水分・食物繊維の摂取、心身の安静と保温により排便習慣の確立を図る。
- ②利用者の状況把握に努め、必要によっては緩下剤の使用を行う。

(4) ターミナルケアに向けて

- ①そのひとらしく、その人の望む方向・意思を最大限に尊重し、又、家族の意向も尊重しながら、最終の 때가安全、安心、安楽にすごせるように専門的ケアを提供する。
- ②看取りケア指針の明確化と周知徹底理念に沿ったケアの共有、利用者、家族の意向確認システム作り、医師のインフォームドコンセントの実施後の受け入れ体制の整備。
- ③看取りケア構築のための実践課題の理解と理念の共有化。
- ④看取りケア体制作り、記録等の整備。

(5) その他

- ①経管栄養施行者等の嚥下性肺炎の予防、口腔ケアの徹底に努める。
- ②褥創予防対策を十分に行い、嘱託医・看護・介護等の連携により、常に褥創ゼロを目指す。

4. 機能回復訓練

- ①入所者ごとに個別機能訓練を作成し、それに基づき各部署と共同して、計画的に機能訓練を行う。
- ②個別訓練開始時及び、3ヶ月後に1回以上利用者及び家族に対して、個別機能訓練計画の内容と、状態を説明し、記録する。

- ③集団での訓練に対しては、音楽療法・園内園外行事・レクリエーション等を通して、利用者が明るく楽しく、生活が活性化できるように援助していく。
- ④ユニットケアに伴い残存能力、生活動作能力等の機能をユニット内で共存、把握し、コミュニケーションを取りながら、生活リハビリを積極的に取り入れる。
- ⑤生活全体をリハビリと考え、個別機能に合わせた排泄、入浴、食事、整容、離床などにより心身諸機能維持、向上に努める。
- ⑥自助具の活用、介護用品の組み合わせにより、生活の質を向上させ自立の援助に努める。

5. 食事の提供

利用者の食に対する関心は強く、生活意欲に深く関わるため、嗜好、摂取量の把握に努め、ニーズに添った安全でおいしい、楽しい食事が提供出来るよう献立作成、環境整備に努める。

(1) 個人の栄養状況・嗜好を把握

- ①栄養ケア・マネジメントの実践により、他職種と協働して、個々人の心身の状況、特に栄養状態をアセスメントし、栄養ケア計画を作成し、それに基づき栄養管理を行う。
- ②食事の摂取状況を把握し、個別対応の食事提供に努める。
- ③給食委員会の定期的実施により、各部署・委託業者との連携を図り適切な対応を行う。
- ④嗜好調査・残食調査による嗜好把握に努め、献立に反映させるよう努める。
- ⑤適温給食を適切に実施する。

(2) 衛生管理、健康管理

- ①調理員、職員等関係者の衛生教育・啓蒙に努めます。
- ②食品の衛生管理と厨房機器の清潔を徹底し、食中毒防止に努めます。

(3) ニーズに添った食事提供

- ①行事食の多様化、各ユニット内での食事作りやおやつ作り等に取り組み、家庭的で楽しみある食事を目指し雰囲気作りに努める。

以上